

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2023年11月8日【再刊第16号】

今号の話題

- 東南アジアでセールスプロモ
雪国の魅力発信
- 観光情報交換会に参加
千歳地域の観光を周知
- 紅葉と味覚で秋満喫
支笏湖紅葉まつり開催

タイ、バンコクプロモーション

冬の北海道人気を再確認

観光商品造成へ

千歳に誘客促進

観光連盟は10月9～11日、タイとシンガポールでのセールスプロモーションを実施しました。セガサミーゴルフエンタテインメント様、公益財団法人千歳青少年教育財団様、アミューズメント北海道様の3者が参加。バンコクで開催されているF.I.Tフェアの北海道ブースの支援及びスノーシーズンの千歳・北海道の魅力を現地旅行会社に伝え、千歳の観光施設を含んだ旅行商品造成につなげることを目的に実施しました。



現地旅行会社関係者からは千歳について多くの質問が寄せられました。

バンコク2社、シンガポール5社を訪問し、千歳と周辺地域の魅力をPRしました。雪のない東南アジアだけあり、北海道人気は依然高い状況です。その中であって新千歳空港の所在する地の利から千歳市内の施設を定番化して旅行商品に組み込んでいる旅行会社もありましたが、その一方で、千歳を知らない旅行会社もありました。

近年は東南アジアを中心に経済発展が著しく、各国国民の年収が上がるなど、海外旅行に赴く機運が高まりつつあります。日本の円安もインバウンド誘客の面では追い風になっています。

特に北海道は雪の降らない地域から憧れのまなざしで見られているスポットです。コロナ禍以前の千歳市内でも、何でもない街中の雪景色を喜んで写真撮影するアジアからの観光客の姿が多く見られました。雪国に住む私たちには気づきにくい魅力が多くあることでしょう。

観光連盟は新千歳空港至近の利便性をアピールし、千歳とその近郊には冬期間のレジャーや魅力が満載のスポットであることについて周知を図っていきます。東南アジアの旅行会社に訴求する形で冬の旅行商品の造成につなげることで、千歳地域の地域振興に結びつけたいと考えています。

本州都市圏で千歳地域をPR

東京、名古屋、大阪 観光情報交換会参加

観光連盟は9月、10月、北海道観光振興機構が主催し、東京、名古屋、大阪で開催した北海道観光情報交換会に参加し、各地の旅行会社やメディア関係者に千歳と周辺地域の観光の魅力を周知しました。

9月8日に名古屋、10月5日に東京、10月26日に大阪で開催された大規模観光関連イベントに合わせて参加。持ち時間の中でプレゼンテーションする形式で、魅力を発信しました。観光連盟ではこれからの冬季観光シーズンに向けて、千歳・支笏湖氷濤まつりやノースノーランドイン千歳をメインにPR。全国屈指の透明度を誇る湖水でできた氷像群が



都市圏での千歳の魅力を発信しました。

立ち並ぶ氷濤まつりや、新千歳空港から至近でスノーラフティングといった雪を楽しむアクティビティを体験できるスノーランドを発信するとともに、自然や景観、食、体験、温泉、工場見学といった千歳の魅力を伝えました。プレゼン後には名刺交換会やミニ商談会の時間も設けられ、参加者からは千歳の観光について多くの質問を受けました。観光連盟では今後も都市圏での知名度向上と誘客促進に努める取り組みを進めていきます。

空の玄関で華麗な音色響く

エアポートコンサート ポルトムで開催

北海道エアポートは10月22日、エアポートコンサートを新千歳空港国際線3階のポルトムホールで開催しました。千歳、苫小牧の小中高校の吹奏楽部、スクールバンドをはじめ、航空会社や自衛隊の音楽隊が出演し、芸術の秋に華麗な音色を空港に響かせました。



出場団体が華麗な音色を響かせました

出演したのは、陸上自衛隊第7音楽隊、北海道千歳高校吹奏楽部、苫小牧市立啓北中学校吹奏楽部、千歳市立勇舞中学校吹奏楽部、苫小牧市立緑小・美園小スクールバンド同窓会などです。

CTSアンサンブル・カントはANA新千歳空港に勤務する、楽器演奏経験のあるスタッフで特別編成した音楽グループ。細川たかしさんの「北酒場」やMrs Green Appleの「青と春」などを演奏。軽快な演奏に来場者からは拍手も送られ、アンコールにも応えるなど、音楽が会場を一体に包み込んでいました。

レンタサイクル

2023年度は終了

観光連盟が運営するレンタサイクルの貸し出し事業は10月29日をもって終了しました、ご利用ありがとうございました。

紅葉まつり 大盛況

支笏湖で秋堪能

紅葉と味覚競演

支笏湖チップつ。入り秋の味覚汁大好評

支笏湖紅葉まつりが10月15日、市内支笏湖温泉園地で開かれました。支笏湖チップの身とキノコをふんだんに使った「秋の味覚汁」が特価で振舞われたほか、ライブステージなどの催しが繰り広げられ、秋晴れの下、観光客を楽しませました。

観光連盟が事務局を務める支笏湖まつり実行委の主催です。



当日は好天に恵まれた行楽日和。味覚汁コーナーには販売前から100人以上にもおよぶ長い列ができました。味覚汁は大鍋で調理され、支笏湖チップをメインの具材に野菜とキノコのためぐり入った味噌仕立て。園地内では多くの観光客が青空の下で味わっていました。限定300杯を用意しましたが、販売開始30分後には完売するほどの盛況ぶりです、支笏湖チップの人気ぶりを示しました。

特設ステージではボーカルとギターのデュオ「Dumarch」が演奏したほか、千歳アイヌ文化



支笏湖の見える園地でステージが繰り広げられました。

伝承保存会による千歳に伝わる伝統の古式舞踊を披露。絵本パフォーマーの岸田典大さんによるパフォーマンズ、ご当地の千歳千唱アイドル小娘（シャオニャン）のライブ、市内で活動する団体による勇壮な和太鼓演奏が行なわれました。

会場ではこのほか、陸上自衛隊第11普通科連隊の装備品の展示や第7後方支援連隊による足湯が設置されたほか、電気自動車（EV）の展示もありました。災害時に非常用電源ともなるEV車の利便性を発信しました。

詳しくはこちら

新千歳空港
寿インター駐車場

近くて便利! 空港まで7分 安く安心! 1日 600円

新千歳空港 寿インター駐車場

千歳観光物産サテライト【ミル】

大好評!! 物産フェア!!

東北フェア

11月15日から開催!!

千歳市千代田町7丁目 1789-3
千歳ステーションプラザ1階

作家ら多数出展

家族連れなど大にぎわい

千歳ものづくりフェス

千歳ものづくりフェス・イン千歳アウトレットモール・レラが10月15日、レラで開かれました。同実行委の主催で、千歳、恵庭のハンドメイド作家が200以上のブースを出展。焼き菓子やコーヒーといった飲食物やキッチンカーの出展もあり、買い物客が足を止めて、お気に入りの品を探していました。



にぎわいを見せたものづくりフェス

作家有志でつくる実行委の主催。レラ内には木工やレザークラフト、イヤリングや指輪などのアクセサリーといった、多彩なハンドメイド雑貨が並びました。会場には親子連れが多く訪れ、お母さんと娘でアクセサリーを選んだり、お父さんがワークショップを体験する姿も見られました。特設ステージでの音楽ライブも行われ、会場を盛り上げていました。



イベント情報

▼第5回千歳年末チャリティーカラオケフェスティバル（2023年12月17日、北ガス文化ホール）千歳市内の企業、団体、行政などの関係者が集い、自慢の喉を披露。入場料1000円。

▼ノーススノーランド・イン千歳（23年12月27日）ザ・ノースカントリーゴルフクラブ）雪上ラフティングなど雪を楽しむアクティビティを用意しています。

▼氷濤まつり安全祈願祭（23年11月28日、支笏湖神社）氷像制作作業の安全と多く観光客の来場を祈願します。

▼千歳・支笏湖水濤まつり（氷の美術館）（24年1月27日～2月25日）国内屈指の透明度を誇る支笏湖の湖水で氷像を制作。昼間は高い透明度の織りなす独特の青、夜はライトアップされた幻想的な世界で見る人を魅了します。

編集後記

ドライブ途中の直売所で、農家を営む男性が裏山で採取したという落葉キノコを購入。さつそく鍋の具材にして味わいました。汁にキノコのだしがにじみ、他の具材のうまみと相まって、道民の幸せを噛みしめたのは言うまでもありません。

自分でもキノコ狩りをしてみたいとは思いますが、素人には見分けるのが難しいと聞くとも及び腰に。まして今年はヒグマの出没が多く夏場も登山を控えたほどでした。大自然は恩恵を与えてくれる一方で脅威にもなることを感じます。

秋の行楽シーズンも終わり、千歳にとってこれからは寒さの恩恵を受ける季節です。千歳・支笏湖水濤まつりの準備も間もなく開始。今年の氷像も楽しみます。